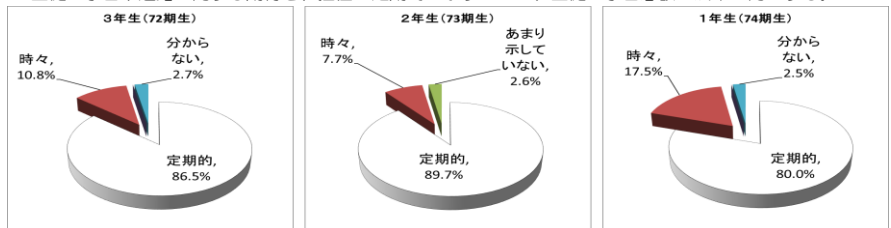


1	<p>目指す学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学指導重点校として、生徒の難関国公立大学等への進学希望を実現する学校</li> <li>・指導力（作問力）の高い教員が質の高い学習指導を実践し、奉職する喜びと誇りを実感できる学校</li> <li>・保護者や地域の方々と協働し、共に活躍し、共に喜びを共有できる学校</li> </ul>	
2	<p>中期的目標と方策</p>	<p>(1) 学校経営</p> <p>ア 組織</p> <p>(ア) 教育職員</p> <p>進学実績の向上に資する深い学びにつながる学習指導を展開するとともに、一丸となって学校経営上の課題解決に取り組む。ハラスメントや服務事故のない職場を維持する。</p> <p>(イ) 行政職員</p> <p>適正な予算編成と執行などの財務管理及び安全な教育環境の維持・管理を徹底するとともに、学校経営を支える企画提案に取り組む。また、ハラスメントや服務事故のない職場を維持する。</p> <p>イ 施設・設備</p> <p>施設・設備を安全に維持・管理するとともに、その充実・改善を図って、教育効果の一層の向上を図る。</p>	<p>(2) 学習指導・進路指導</p> <p>ア 学習指導等</p> <p>相互授業観察等を通して、高い専門性を維持し、授業及び計画的な特別講習等において知徳体の均衡ある全人教育を展開する。また、新学習指導要領の実施に向けた校内研究を行う。</p> <p>イ 進路指導</p> <p>エビデンスを踏まえた系統的な進路指導の一層の充実を図り、国公立大学進学の実績の向上を図る。また、将来の進路決定のために深い学びと教養を身に付けさせる。</p>
(1)	<p>教育目標と方策</p> <p>教育課題の解決を目指し、全教職員が学校経営計画の具現化に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エビデンスを重視した学校経営の継続</li> <li>・自己申告に学校経営計画の具現化のための目標設定</li> <li>・企画調整会議の活性化、各教科との連携が必要な局面で企画調整会議に教科主任が参加する拡大企画調整会議の実施</li> <li>・新教育課程の検討をPT等により確実に推進し、グランドデザインを構築</li> <li>・校内研修、進路職員会議等による教育課題の共有化</li> <li>・教育改革を見据えた教育課題の解決</li> <li>・ライフワークバランスの取組の推進</li> </ul>	<p>課題ごとに、管理職と一体となってPT方式によりその解決に当たる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・固定観念や前例にとらわれない柔軟な発想に基づく、学校経営計画の具現化に資する取組を展開（情報収集、レク資料の作成、企画・要望等に関する説明資料の作成）</li> <li>・校長研修による若手職員の人材育成とOJT等による実務面での人材育成の推進</li> <li>・適正な予算編成・執行と財務管理の徹底</li> <li>・施設・設備の安全維持に要する業務の着実な推進</li> <li>・進路部、広報部、生徒部の多様な業務を財務面から支援</li> <li>・同窓会等との連携強化</li> </ul>	<p>施設・設備の安全確認・点検等を定期的に行うとともに、改修改善を要する施設・設備については増改修要望を利用して学校経営支援センター、又様々な機会を捉えて営繕課と連携して教育環境の維持改善及び向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の安全と教育成果の拡大を図るために、教育庁関係部署並びに地域の関係団体や教育機関と連携して改修改善を推進する。</li> <li>・複数年度にわたる増改修の中期的計画を作成し、増改修計画に反映する。</li> </ul> <p>教員の専門性の向上と、国公立大学進学に対応した学習指導の展開を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体の教育力の向上</li> <li>・大学入試改革を見据えた自校作成問題の継続、校内学力テスト、定期考査の改善及び目標値の設定（全てに新傾向の作問を導入）</li> <li>・学習到達目標の明示と生徒に対する教員の期待の表明</li> <li>・長期休業期間中の講習を生徒の進路希望別の内容で実施</li> <li>・管理職が指定した教員の授業見学の実施、指導教諭による授業公開の活用、特別講習等の継続</li> <li>・英語教育推進校としての取組</li> <li>・オリンピック・パラリンピック教育の推進</li> <li>・不読率の低減</li> </ul> <p>進路部と各学年が連携して計画的に進路指導を行うとともに、生徒一人一人の実態を教職員全員で把握し、各教科等での適切な指導を継続する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合格大学別の校内学力テスト・定期考査の分析</li> <li>・進路職員会議、ケース会議、進路研修会等を定期的に開催</li> <li>・長期休業期間中の講習を生徒の進路希望別の内容で実施</li> <li>・各学年集会等における進路部主催の講演等の実施</li> <li>・望ましい勤労観・職業観を育むキャリア教育の実施</li> </ul>
3	<p>今年度の取組目標と方策</p> <p>(2) 重点目標と方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画調整会議での議論の活性化による学校経営の一層の充実・改善</li> <li>・学習から生活、特別活動等までにおける生徒・保護者に係る情報の迅速な共有</li> <li>・進学実績向上に資する専門性の一層の向上</li> <li>・体罰や個人情報漏えい等の服務事故の防止</li> <li>・個々の生徒に応じた学習指導や相談の展開、生徒及び保護者との面談の実施</li> <li>・担当部署に関らず、学校行事等の運営への積極的協力</li> <li>・学校評価アンケートのIT化による効率化・高度化</li> <li>・新学習指導要領を見据えた教育課程の改善（PTの継続・拡大企画調整会議の実施）</li> <li>・80周年記念式典の準備：企画、記念誌編集、生徒指導、渉外等）</li> <li>・在校時間調査の公表によるライフワークバランスの実現に向けた取組の継続（産業医の活用、心身のケアに関する研修の実施）とテレワークの試行</li> </ul>	<p>進学実績の向上に資する学習環境整備等の企画提案など学校経営に改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的視点に立脚した自律経営推進予算の編成と効率的執行</li> <li>・積立金等の私費の適正かつ学校経営に則した執行管理</li> <li>・副校長等と連携した、校内施設・設備の安全点検と増改修推進のための支援センター、高等学校教育課との折衝</li> <li>・進学実績の向上、施設・設備の改善等の重点目標実現を支えるための業務の効率化</li> <li>・学校評価アンケートのIT化による効率化・高度化</li> <li>・業者選定委員会、安全衛生委員会等を利用した業務改善</li> <li>・在校時間調査の公表によるライフワークバランスの実現に向けた取組の継続（産業医の活用、心身のケアに関する研修の実施）とテレワークの試行</li> <li>・同窓会、後援会との連携の一層の推進</li> </ul> <p>グラウンドの人工芝生化和外構整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館放送設備改修</li> <li>・暑さ対策のため体育館、プール天井、特別教室棟準備窓のフィルム貼付</li> <li>・自習室や廊下ラウンジの学習環境の整備</li> <li>・小会議室の設置（被服室の一部）及びトイレ洋式化の継続と照明LED化・自動化</li> <li>・パソコン、プリンター等IT器械の更新及び充実</li> <li>・ITによる業務の効率化に伴う教職員の負担軽減とライフワークバランスの実現、テレワークの試行</li> <li>・1、3階廊下及び職員室の掲示板の設置</li> <li>・80周年行事の計画の推進</li> <li>・オリンピック時のストリート芸術計画推進及び施設の活用、代替施設の確保（フレ実施：他の都立高校での夏季講習・予備校等を借り上げでの自習室の提供等を部分的に実施）</li> <li>・固定掲示板（建物外）の新設</li> </ul>	<p>進学指導重点校としての実績向上に資するよう、指導力・専門性の向上のための研鑽を積むとともに、教科内外の若手・中堅教員の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のしおり（年間指導計画）の精度向上の継続（学習到達目標・評価規準の設定）</li> <li>・授業での学習のねらいの明示、知識・技能を活用する場面の設定、話し合いや発表活動等による主体的な学びの実現</li> <li>・校内学力テスト、外部模擬試験の結果分析及び分析に基づく指導の充実</li> <li>・授業評価等の結果を分析し、成果の挙がっている指導方法を教科・学年で共有（クラス単位のデータの公表）</li> <li>・教員の相互授業参観を年2回（6月、11月）実施</li> <li>・オンライン英会話学習の取組状況とGtec、校内学力テスト等との相関の分析、Tokyo Global Gateway（英語村）の活用（1学年で実施）</li> <li>・教科の特性に応じて学校図書館を活用した授業を展開</li> <li>・「青山高校の100冊」の改訂と生徒の不読率を10%未満に低減</li> <li>・長期休業期間中等の課題については、学年主任がその総量を適切に管理</li> </ul> <p>進路全体計画の策定と着実な実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路職員会議、ケース会議の継続実施</li> <li>・校内学力テスト、外部模擬試験の継続実施（実施回数を減じても、校内学力テストの一層の精度向上に向けた各教科の取組を支援）</li> <li>・模擬試験ごとの志望者リストの作成と希望に応じた講習の実施</li> <li>・模擬試験は、学年集会で各教科担当の解説を加えて返却</li> <li>・講習及び補習の実施（3年：難関国公立大、1・2年：習熟度別）</li> <li>・3年：センター試験・シミュレーション・テストの実施、センター試験及び二次試験対応時制の編成（2学期末から2月未まで）</li> <li>・オリンピック・パラリンピック東京大会2020を見据え、2019年度から他の都立学校での夏季講習の実施や予備校と連携した自習室の開設、2020年度の夏季講習等の実施（大会が中止の場合は、実施しない、延期の場合は、期間中、授業を教職員研修センター等で実施する。）</li> </ul>
(3)	<p>数値目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●旧帝大等を含む難関国公立大学の現役合格者30名以上を着実に実現</li> <li>●5年後には、1クラスに6人が旧帝大等を含む難関国公立大を目指す学校を実現</li> </ul>	<p>難関国公立等現役合格者数</p>	<p>4年後の現役合格者数</p>

<p>目指す生徒像</p> <p>(1) 社会の変化に対応できるよう、生涯にわたって学び続ける意欲と態度を備えた生徒                  (2) 知徳体の均衡ある、将来のリーダーになり得る生徒                  (3) 切磋琢磨することに喜びを見いだせる逞しさを備えた生徒</p>		(3) 生徒の健全育成と心身の健康		(4) 特別活動		(5) 地域貢献	(6) 広報活動
		ア 健全育成	イ 心身の健康	ア 行事等	イ 部活動	開かれた学校づくりや地域連携を推進し、生徒が有為な社会人となるための資質を育むとともに、地域の教育・文化の核としての社会的役割を果たす。	教育活動の広報を通して、地域社会や地域の学校に本校の教育活動への理解を深めてもらうとともに、より学ぶ意欲の高い生徒を募集を目指す。
<p>公共心、道徳心を涵養し、規範意識や社会貢献の意識の醸成を図る。また、いじめの未然防止、自殺防止のための相談・支援体制を強化する。</p>	<p>保健・衛生管理の徹底、心身の健康維持のための相談・支援体制を一層強化するとともに、生涯にわたる健康維持・増進に必要な基礎知識や習慣を育成する。</p>	<p>学校行事を通して、情操を豊かにするとともに、健全な帰属意識を醸成する。また、ホームルーム活動を通じて生徒に期待する行動を示し、互いに高め合う集団を育成する。</p>	<p>部活動への積極的な取組を奨励し、心身の健康を増進し、文化教養を高めるとともに、地域等に貢献する活動をとおして、社会性の涵養を図る。</p>	<p>開かれた学校づくりや地域連携を推進し、積極的に社会に参加・貢献しようとする態度を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の外国大使館等との国際交流の展開</li> <li>・地域や地域企業、関係機関等と連携した活動の展開（連携協定書の締結による継続的な連携の基盤を構築）</li> <li>・地域の特別支援学校との交流活動の展開</li> </ul>	<p>ホームページや中学生やその保護者等に対する学校説明会等により、公立学校で学ぶ良さやアピールする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事や部活動等の教育活動の情報発信</li> <li>・中学生とその保護者に対する学校説明会等での情報発信</li> <li>・中学校等への広報活動や体験授業の実施</li> <li>・Twitter、学校法ホームページ、サイネージ等ICTを活用した情報発信と広報活動の充実</li> </ul>		
<p>教育活動全般をとおして、公共心や道徳心、規範意識や社会貢献の意識を育むとともに、他者を思い遣る人間性を醸成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主自律の精神と民主主義を尊ぶ生徒会活動の指導</li> <li>・事件や事故、自然災害等から身を守り、社会の一員として自助共助の行動をとれるよう指導</li> <li>・美化活動等の実施</li> <li>・社会性の涵養に資する講話や指導の実施</li> <li>・いじめ防止対策の実施</li> </ul>	<p>学校保健計画に基づき、生徒の心身の健康づくりに資する取組を推進するとともに、個々の生徒に合った指導・支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセリングや相談体制の強化</li> <li>・合理的配慮や支援を必要とする生徒への支援</li> <li>・スクールカウンセラーや特別支援教育コーディネータを活用した相談体制の強化</li> </ul>	<p>学校行事のねらいを達成し、健全な心身を育成するとともに、文化・芸術・運動等に生涯にわたり親しむ素地を培う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化・芸術に親しむ行事の実施</li> <li>・防災に係る活動に親しむ行事の実施</li> <li>・体育活動に親しむ行事の実施</li> <li>・読書活動に親しむ行事の実施</li> </ul>	<p>部活動への加入を奨励し、文化活動や体育活動をとおして、生涯にわたり健康で文化的な生活を送るための基礎を培う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公式戦の参加奨励や公的発表会等への参加支援</li> <li>・外部指導員等の配置</li> <li>・生徒の心身の課題に学校全体で対応</li> <li>・地域の学校との部活動をとおした交流活動の展開</li> <li>・大学や企業と連携したスポーツ交流活動の展開</li> </ul>	<p>地域行事への参加や地域との交流活動を推進し、積極的に社会に参加・貢献しようとする態度を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の外国大使館等との国際交流の展開</li> <li>・地域や地域企業、関係機関等と連携した活動の展開（連携協定書の締結による継続的な連携の基盤を構築）</li> <li>・地域の特別支援学校との交流活動の展開</li> </ul>	<p>ホームページや中学生やその保護者等に対する学校説明会等により、公立学校で学ぶ良さやアピールする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事や部活動等の教育活動の情報発信</li> <li>・中学生とその保護者に対する学校説明会等での情報発信</li> <li>・中学校等への広報活動や体験授業の実施</li> <li>・Twitter、学校法ホームページ、サイネージ等ICTを活用した情報発信と広報活動の充実</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒総会、外苑祭等の生徒会活動の指導</li> <li>・いじめアンケート実施（年3回）による未然防止、早期発見</li> <li>・いじめ対策委員会、特別支援委員会の定期開催</li> <li>・校内美化活動の指導</li> <li>・校内施設・設備使用のルールの徹底</li> <li>・SNSの適切な活用の指導、ゲーム等への依存防止の指導</li> <li>・あいさつ指導、遅刻防止の指導の実施</li> <li>・オリンピック期間中の交通集中、テロや凶悪事件、自然災害等から身を守る実践的な学習や高校生の果たすべき役割の自覚の醸成</li> <li>・セーフティ教室の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー疾患等生徒の個別の状況把握と共有化</li> <li>・生徒検診等における全校協力体制の継続</li> <li>・1学年全員面接、教員へのコンサルテーション等スクールカウンセラーの活用</li> <li>・教職員対象の保健研修会等の実施</li> <li>・発達障害の理解、教員のカウンセリング能力の向上と相談体制の充実</li> <li>・スクールカウンセラーを活用した、合理的配慮や支援を必要とする生徒への支援</li> <li>・管理職を含め、教職員が気付いた生徒に係る情報は、企画調整会議・特別支援教育推進委員会等で必ず共有し、学校としての具体的な支援等を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立競技場でのオリンピック競技観戦</li> <li>・宿泊防災訓練の実施</li> <li>・日本の伝統文化の理解と継承を目的とする修学旅行の実施</li> <li>・健康維持とスポーツに親しむ基礎を培う体育祭の実施</li> <li>・外苑祭における演劇等の質の一層の向上</li> <li>・校内ピピリオバトルの継続実施</li> <li>・Tokyo Global Gateway（英語村）を活用した英語体験学習の展開（1年生）</li> <li>・80周年記念式典の実施、周年記念誌の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の再任用教員、非常勤教員経験者を、部活動外部指導員や3年生の特別講習の講師として活用</li> <li>・事故等の未然防止と万一の場合の適切かつ迅速な対応の徹底</li> <li>・顧問教諭や関係教諭、スクールカウンセラー等による面談等の実施</li> <li>・地域の小中学校、特別支援学校との部活動をとおしての生徒同士の交流活動の展開</li> <li>・進学指導重点校の要として、都内の難関国公立大学との部活動をとおしての交流活動・キャンパスツアーを展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピック教育等をテーマに、地域の小学校、中学校、特別支援学校や地域の諸団体と連携してストリートファッションコンテスト及び交流活動を実施</li> <li>・外国大使館等と英語による講演や著名人・知識人等を招聘した文化講演を実施</li> <li>・地域の特別支援学校との交流活動の展開</li> <li>・祭礼等の地域行事への参加や地域の清掃活動などの実施</li> <li>・地域や地域の企業、関係機関と連携した宿泊防災訓練の実施（帰宅困難者の受け入れのシミュレーションゲームHUG、災害伝言ダイヤルの使い方）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ホームページの充実及びTwitter等の活用により、エビデンスの公表や行事や部活動等の教育活動の情報発信を実施</li> <li>・学校説明会、入試問題解説会等を年8回以上開催</li> <li>・近隣中学校等への出前広報活動の展開</li> <li>・中学生対象の体験授業（サマースクール）の実施</li> <li>・塾等への出前広報活動</li> <li>・デジタルサイネージやDVDを活用した学校PRの展開</li> <li>・外苑前・青山地区の地の利を活かした生徒募集活動の展開（ブランド力のあるデザインの開発：マフラータオル等）</li> </ul>		

- 全てのホームルームでの話し合いや発表活動を展開するとともに、生徒に対する学習や進路に関する教員の期待を定期的に表明 全クラス8割以上
- 生徒の学校生活における意欲と学力の向上を実現
- 優れた取組を全体で共有

生徒の学習や進路に関する期待を、担任が定期的に示すことで、生徒の学習意欲と成果が向上する。



各学年もっとも高い評価のクラス (2019年11・12月調査結果)